

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	開講学期	通年	単位数	2	試験	前期・後期
タイプ	Ⅲ	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		14

教科書(発行者)	書道Ⅱ(東京書籍)
補助教材(発行者)	

科目の目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の観点 及び その趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	漢字の書 張猛龍碑	第1・2回	前期
	第2回	集王聖教序	第3・4回	
	第3回	書譜 楷書・行書・草書のまとめ	第5・6・7回	
後期	第4回	石鼓文 礼器碑	第8～11回	後期
	第5回	寸松庵色紙	第12・13回	
	第6回	漢字仮名交じりの書	第14回	